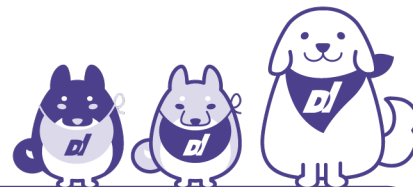




そうま あすか
相馬 明香

担当 賃貸管理部 お客様係



暑さが去りやらぬ9月。皆さまいかがお過ごしですか。

今年はコロナのために外出自粛・ステイホームなど、今までにないくらいお家時間が増えました。

お家時間では映画鑑賞や読書などゆっくりじっくり楽しんでおります。

さて、今月のお題「おすすめの映画」ですが、私のおすすめ映画は、滝田洋二郎監督・浅田次郎原作・中井貴一主演の「壬生義士伝」です。幕末の新撰組にスポットをあて、南部盛岡藩脱藩浪士で新撰組隊士の吉村貫一郎と 彼をとりまく人々の生き様・死に様を描いた映画です。笑いあり、涙ありという月並な感想になってしまいますが、「守銭奴」と陰口をたたかれる主人公 吉村貫一郎はただのケチな守銭奴ではなく、武士は食わねど高楊枝の真逆をそれはそれは清々しくくらいに貫いた生き方、武士のくせに「死にたくない」と生に執着する生き方を見せつけてくれます。これが笑い。なぜそこまでして生きようとするのか、生きようするのに戦うのか。吉村貫一郎の生き様に触れた人々が心に得ていくものは何か。これが涙。いま流行のコメディタッチな時代劇ではありません（笑いはあるけど）。ドキドキするようなイケメンは出演していません（中井貴一ファンの方すみません）。誰もが与えられた世界の中で、もがきながらも希望や生きがいを見つけ、格好悪くても理不尽でも生きることをあきらめない姿が描かれた映画です。

ちなみに原作の小説も映画に劣らずおすすめです。